みんなで挑戦！

ゼロカーボンシティ旭川 Vol.9

安心して暮らせる豊かな地球環境を守るため、私たちが抱える気候変動問題の解決に向けた市の取組みを紹介します。

【詳細】環境総務課☎25・5350

グリーンアンバサダー活動報告

ごみのポイ捨て禁止運動・ごみ拾い活動に参加しました

4/21

旭川グリーンアンバサダー
吉田小夏（よしだ こなつ）さん

４／21㈰に、ごみのポイ捨て禁止運動・ごみ拾い活動に参加させていただきました。今回は新しい試みとして、身体を温めてから元気に楽しく出発できるように、開会式にて参加者全員で簡単なストレッチを行いました。

旭川グリーンアンバサダーの活動も３年目になりましたが、ごみ拾いの最中には、参加者の方々から声をかけていただいたり、一緒に写真を撮ったりして、つながりが増えたことをうれしく思える時間でした。また、1,710名で力を合わせて旭川の街中をきれいにすることで、環境保全活動が人や動物の心身の健康にもつながっていることを感じ、改めてワンヘルス※の考え方を大切にしようと思いました。

※ヒトと動物、環境（生態系）は相互につながっていると捉え、それぞれの関係者が協力し課題の解決のために活動していこうという考え方。

SUSTAINABLE FASHION（サステナブル ファッション）

衣服の生産から着用、廃棄に至る過程において将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組みのことをいいます。服を一着作るにも環境に対して様々な負荷がかかる中、生活者、企業が改善に取り組んでいく必要があります。

1. 今持っている服をできるだけ長く着ましょう
2. 服のシェア、再利用でファッションを楽しみましょう
3. 本当に必要か、先のことを考えて衣服を買いましょう
4. 服を処分するときは資源として古着回収などに出しましょう

ゼロカーボンシティって？ 2050年までに、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す地方自治体です。旭川市は令和３年10月に表明し、脱炭素社会の実現に向けて、積極的に取り組んでいます

STOP！外来種

外来種とは

人間の活動によって、もともといなかった国や地域に運び込まれた動植物のことを「外来種」といいます。現在、日本全国で約2,000種の外来種が生息しており、市内では下記のとおり６種類の外来種が確認されております。

これらの外来種によって起こされる問題として、

⚠外来種が在来種（もともとその地域にいた種）を捕食して、在来種の数を減らす、または絶滅に追いやる

⚠在来種の生息環境や餌を奪われる

⚠遺伝的に近い在来種と交雑して雑種をつくる

などがあり、結果、生態系のバランスが崩されてしまいます。

アズマヒキガエル

このような問題を防ぐために、私たちができることは

「外来種被害予防三原則」です

1 外来種を「入れない」

もともと生息している場所から生き物を別の場所に入れないようにしましょう

2 外来種を「捨てない」

飼養、栽培している外来種を適切に管理し、捨てない、逃がさない、放さないようにしましょう

3 外来種を「拡げない」

すでに野外にいる外来種を他の地域に広げないようにしましょう

皆さまのご協力をお願いします

【詳細】環境総務課☎25・5350

環境省提供 アカミミガメ

環境省提供 ウチダザリガニ

環境省提供 セイヨウオオマルハナバチ

環境省提供 アライグマ

環境省提供 オオハンゴンソウ